

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3086 2008/10/13   (事故発生地) 北海道	エアポット（ステンレス製）  TAD-3000  サーモス（株）  使用期間：約2年6か月	エアポットの持ち手を持ったところ、本体のステンレス部分が上部のふた部分から外れて落下した。   (製品破損)	製造工程において、ステンレス製本体と樹脂製部材（取っ手を有する、プッシュボタンふたとの連結用肩部材）との嵌合の一部が不完全な状態となっていたために、使用中の振動・衝撃等により当該部が外れたものと推定される。   (A2)	他に同種事故が発生しておらず、単品不良とみられるため、今後の発生状況については監視することとし、特に措置はとらなかった。 なお、当該品は既に販売を終了している。	不明    (受付:2008/10/16)
2006-1234 2006/08/02   (事故発生地) 東京都	おろし器（セラミック製）   使用期間：約1日	乳児の離乳食用として、茹でた人参やりんごをすり下ろしたところ、セラミック製おろし器の突起部分が欠け、離乳食の中に混入した。   (製品破損)	部分的に形の歪んだ突起が見受けられることから、歪んだ部分に負荷がかかりやすく突起が欠けたものと推定されるが、狭い範囲で突起が数本まとめて欠けている部分があり、強い衝撃が加えられた可能性もあるため、原因の特定はできなかった。   (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとらなかったが、出荷前にすり下ろし面をブラシで5回こすり、強度を確認することとした。	消費者    (受付:2006/09/07)
2007-2175 2007/05/28   (事故発生地) 東京都	ガスこんろカバー（耐熱ガラス製）   使用期間：不明	ガスこんろで調理中に突然、耐熱ガラス製のガスこんろ専用トップカバー（使用中はガスこんろの側面をガードする形状となる）が大きな音をたてて粉々に割れ、キッチンに飛び散ったガラス破片を片づけている際に指を切った。   (軽傷)	大きな鍋がガラスカバーに接した状態で長時間料理をしたことによりガラスに負荷がかかっていた、調理中に振った鍋やフライパンがガラスカバーに接触し衝撃を与えて傷が付いていた等の原因が考えられるが、事故品が入手できなかったことから、原因の特定はできなかった。   (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。 なお、取扱上の注意表示をガラスカバーに貼付することとした。	消費者センター    (受付:2007/07/06)
2007-2211 2007/05/28   (事故発生地) 神奈川県	キッチンシャワー   使用期間：約3日	台所の混合水栓（泡沫水栓）の蛇口にキッチンシャワーを取り付けたところ、3日後突然外れ、湯が飛び散り火傷を負った。   (軽傷)	当該品は、泡沫水栓と一般水栓の両方に取り付けることができ、泡沫水栓の場合は付属のアダプターを使用しない旨、取説に明記されているにもかかわらず、アダプターを取り付けたままセットして使用したため、水栓の外ネジ部との抵抗や繰り返し取り付けの際の影響でアダプター内部の保持力を保つためのリブに亀裂が入り、保持力がなくなり、外れたものと推定される。   (E2)	被害者の不注意による事故とみられるため、措置はとらなかった。	消費者センター    (受付:2007/07/09)

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3394 2007/02/09  (事故発生地) 大阪府	たまご調理器（電子レンジ用）  使用期間：不明	電子レンジ用たまご調理器でゆで卵を作っていたところ、突然爆発し、電子レンジのふたが開いて、子供の頭の上に卵が飛び散った。また、電子レンジの温度自動センサーが機能しなくなった。	同等品を用いた再現テストでは、表示方法どおりに使用した場合に卵が破裂することはなかったが、水を入れず、上部カバーの嵌合が不完全な場合に卵が破裂した。事故品は上部カバーの変形が確認されたが、使用状況等の詳細が不明であり、原因の特定はできなかった。	取扱説明書について改善を行ってきたが、取扱説明書どおり使用されないことがあるため、製造及び輸入を中止した。 なお、当機構では、平成20年3月及び4月の製品安全点検日セミナーにて電子レンジで使用するたまご調理器の使用方法等について消費者に注意喚起を行った。	消費者センター  (受付:2007/02/15)
2007-3529 2007/08/08  (事故発生地) 大阪府	たまご調理器（電子レンジ用）  使用期間：約10回	電子レンジ用たまご調理器でゆで卵を作っていたところ、突然卵が破裂して、調理器のカバーが外れて飛び、電子レンジのガラス管ヒーターが破損した。	同等品を用いた再現テストでは、表示方法どおりに使用した場合に卵が破裂することはなかったが、水を入れず、上部カバーの嵌合が不完全な場合に卵が破裂した。事故品は上部カバーの変形が確認されたが、使用状況等の詳細が不明であり、原因の特定はできなかった。	取扱説明書について改善を行ってきたが、取扱説明書どおり使用されないことがあるため、製造及び輸入を中止した。 なお、当機構では、平成20年3月及び4月の製品安全点検日セミナーにて電子レンジで使用するたまご調理器の使用方法について消費者に注意喚起を行った。	消費者センター  (受付:2007/09/25)
2007-4870 2007/12/09  (事故発生地) 愛媛県	たまご調理器（電子レンジ用）  使用期間：約2年	電子レンジ用ゆで卵調理器を使っていたところ、卵がレンジ内で破裂し、電子レンジ上部が破損した。	被害者の使用状況が確認できず、事故品も入手できないことから、調査できなかった。	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。 なお、当該製品は2年前に製造を中止している。	消費者センター  (受付:2007/12/13)
2007-5667 2007/12/00  (事故発生地) 京都府	たまご調理器（電子レンジ用）  温たまポイラー  (株)伸和  使用期間：不明	電子レンジ用たまご調理器で温泉卵を作っていたところ、卵が破裂してふたが飛び、電子レンジが破損した。	取扱説明書どおりの加熱方法では卵は破裂しないが、過加熱（再加熱又は規定の時間を超えての加熱）すると破裂する場合があった。当該製品は温泉卵専用の調理器であるが、どのような状態をもって「温泉卵」と認識するかには個人差があり、被害者が調理品を見て「温泉卵になっていない」と認識して過加熱したため、卵が破裂したものと推定される。 なお、当該製品には過加熱に関する注意表示はなかった。	同種事故が数件発生しているものの、人的被害に至った事故は発生していないことから、今後の事故発生に注視することとし、既販品についての措置はとらなかった。 なお、当該製品の輸入及び販売を中止するとともに、在庫品はすべて回収して廃棄した。	消費者センター  (受付:2008/01/22)







## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3370 2008/02/16    (事故発生地) 東京都	なべ（ホーロー製、ガラスぶた付）  赤いホーロー両手鍋  (株) ニッセン  使用期間：不明	ホーロー両手なべで調理中、ガラスぶたが突然破損し、周辺を汚損した。	同一型式製品（ガラスぶた）について、一定期間に同種事故が複数発生していることから、製造又は販売輸送時の不具合によってガラス表面に生じた傷などが起点となり破損したものと考えられるが、起点となった傷等の確認に至らず、原因の特定はできなかった。	当該製品は、販促用として配布したものであり、事故原因は不明であるが、2008（平成20）年3月11日に当該ガラス製のぶたを廃棄するよう顧客へDMを送付するとともに、同年8月29日に、DMの再発送及びホームページに社告を掲載している。 なお、今後の製品については、ぶたの材質をガラスからホーローに変更することとした。	輸入事業者     (受付:2008/11/07)
2008-3371 2008/02/16    (事故発生地) 千葉県	なべ（ホーロー製、ガラスぶた付）  赤いホーロー両手鍋  (株) ニッセン  使用期間：不明	ホーロー両手なべで調理中、ガラスぶたが突然破損して飛び散った。	同一型式製品（ガラスぶた）について、一定期間に同種事故が複数発生していることから、製造又は販売輸送時の不具合によってガラス表面に生じた傷などが起点となり破損したものと考えられるが、起点となった傷等の確認に至らず、原因の特定はできなかった。	当該製品は、販促用として配布したものであり、事故原因は不明であるが、2008（平成20）年3月11日に当該ガラス製のぶたを廃棄するよう顧客へDMを送付するとともに、同年8月29日に、DMの再発送及びホームページに社告を掲載している。 なお、今後の製品については、ぶたの材質をガラスからホーローに変更することとした。	輸入事業者     (受付:2008/11/07)
2008-3372 2008/02/22    (事故発生地) 京都府	なべ（ホーロー製、ガラスぶた付）  赤いホーロー両手鍋  (株) ニッセン  使用期間：不明	ホーロー両手なべのガラスぶたが突然破損して飛び散った。	同一型式製品（ガラスぶた）について、一定期間に同種事故が複数発生していることから、製造又は販売輸送時の不具合によってガラス表面に生じた傷などが起点となり破損したものと考えられるが、起点となった傷等の確認に至らず、原因の特定はできなかった。	当該製品は、販促用として配布したものであり、事故原因は不明であるが、2008（平成20）年3月11日に当該ガラス製のぶたを廃棄するよう顧客へDMを送付するとともに、同年8月29日に、DMの再発送及びホームページに社告を掲載している。 なお、今後の製品については、ぶたの材質をガラスからホーローに変更することとした。	輸入事業者     (受付:2008/11/07)
2008-3373 2008/02/18    (事故発生地) 滋賀県	なべ（ホーロー製、ガラスぶた付）  赤いホーロー両手鍋  (株) ニッセン  使用期間：不明	ホーロー両手なべで調理中、ガラスぶたが突然破損した。原因を調査中。	同一型式製品（ガラスぶた）について、一定期間に同種事故が複数発生していることから、製造又は販売輸送時の不具合によってガラス表面に生じた傷などが起点となり破損したものと考えられるが、起点となった傷等の確認に至らず、原因の特定はできなかった。	当該製品は、販促用として配布したものであり、事故原因は不明であるが、2008（平成20）年3月11日に当該ガラス製のぶたを廃棄するよう顧客へDMを送付するとともに、同年8月29日に、DMの再発送及びホームページに社告を掲載している。 なお、今後の製品については、ぶたの材質をガラスからホーローに変更することとした。	輸入事業者     (受付:2008/11/07)



## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-3378 2008/02/05    (事故発生地) 東京都	なべ（ホーロー製、ガラスぶた付）  赤いホーロー両手鍋  (株) ニッセン  使用期間：約3回	ホーロー両手なべのガラスぶたが突然破損した。	同一型式製品（ガラスぶた）について、一定期間に同種事故が複数発生していることから、製造又は販売輸送時の不具合によってガラス表面に生じた傷などが起点となり破損したものと考えられるが、起点となった傷等の確認に至らず、原因の特定はできなかった。	当該製品は、販促用として配布したものであり、事故原因は不明であるが、2008（平成20）年3月11日に当該ガラス製のぶたを廃棄するよう顧客へDMを送付するとともに、同年8月29日に、DMの再発送及びホームページに社告を掲載している。 なお、今後の製品については、ぶたの材質をガラスからホーローに変更することとした。	輸入事業者     (受付:2008/11/07)
2008-3379 2008/02/03    (事故発生地) 千葉県	なべ（ホーロー製、ガラスぶた付）  赤いホーロー両手鍋  (株) ニッセン  使用期間：不明	ホーロー両手なべで調理後、ガラスぶたをしておいたところ、ぶたが突然破損した。	同一型式製品（ガラスぶた）について、一定期間に同種事故が複数発生していることから、製造又は販売輸送時の不具合によってガラス表面に生じた傷などが起点となり破損したものと考えられるが、起点となった傷等の確認に至らず、原因の特定はできなかった。	当該製品は、販促用として配布したものであり、事故原因は不明であるが、2008（平成20）年3月11日に当該ガラス製のぶたを廃棄するよう顧客へDMを送付するとともに、同年8月29日に、DMの再発送及びホームページに社告を掲載している。 なお、今後の製品については、ぶたの材質をガラスからホーローに変更することとした。	輸入事業者     (受付:2008/11/07)
2008-3380 2008/02/01    (事故発生地) 沖縄県	なべ（ホーロー製、ガラスぶた付）  赤いホーロー両手鍋  (株) ニッセン  使用期間：不明	ホーロー両手なべで調理後、火を止めてガラスぶたをしておいたところ、ぶたが突然破損した。	同一型式製品（ガラスぶた）について、一定期間に同種事故が複数発生していることから、製造又は販売輸送時の不具合によってガラス表面に生じた傷などが起点となり破損したものと考えられるが、起点となった傷等の確認に至らず、原因の特定はできなかった。	当該製品は、販促用として配布したものであり、事故原因は不明であるが、2008（平成20）年3月11日に当該ガラス製のぶたを廃棄するよう顧客へDMを送付するとともに、同年8月29日に、DMの再発送及びホームページに社告を掲載している。 なお、今後の製品については、ぶたの材質をガラスからホーローに変更することとした。	輸入事業者     (受付:2008/11/07)
2008-3381 2008/01/30    (事故発生地) 東京都	なべ（ホーロー製、ガラスぶた付）  赤いホーロー両手鍋  (株) ニッセン  使用期間：不明	ホーロー両手なべで調理中、ガラスぶたが突然破損した。	同一型式製品（ガラスぶた）について、一定期間に同種事故が複数発生していることから、製造又は販売輸送時の不具合によってガラス表面に生じた傷などが起点となり破損したものと考えられるが、起点となった傷等の確認に至らず、原因の特定はできなかった。	当該製品は、販促用として配布したものであり、事故原因は不明であるが、2008（平成20）年3月11日に当該ガラス製のぶたを廃棄するよう顧客へDMを送付するとともに、同年8月29日に、DMの再発送及びホームページに社告を掲載している。 なお、今後の製品については、ぶたの材質をガラスからホーローに変更することとした。	輸入事業者     (受付:2008/11/07)





## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-3879 2007/10/16  (事故発生地) 長野県	なべ(鉄製)  不明  不明 使用期間：約6か月	鉄鍋で白米を炊いたところ、鍋から剥がれた黒い破片が混じっていた。それまでは煮物に使用しており、剥がれに気づかず食べていた可能性がある。  (製品破損)	剥がれた破片を分析した結果、アルキド樹脂系の塗料であったことから、耐熱性の低いアルキド樹脂系の塗料を用いたために、使用時の加熱によって塗装が劣化し、剥離したものと推定される。  (A1)	製造業者等が不明のため、措置はとれなかった。	消費者センター   (受付:2007/10/23)
2006-4029 2006/12/00  (事故発生地) 北海道	なべぶた(ガラス製)  使用期間：約2年	なべぶたを洗おうとしたところ、ふたのつまみが取れて落下し、流しに置いてあったガラスのコップが割れた。  (拡大被害)	使用により緩んできたため、ふたのつまみを繰り返し締め直して使用したことや緩んだ状態で使用を続けたこと等により、つまみのネジ山が摩耗して、はめ合わせが緩くなり、なべぶたがつまみより取れたものと推定される。  (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとれなかった。	消費者   (受付:2007/03/27)
2008-0079 2008/01/00  (事故発生地) 大阪府	なべぶた(ガラス製)  使用期間：約1か月	ガラス製のなべぶたを食器と重ねて洗い桶に置いていたところ、突然粉々に割れて破片が飛び散り、破片が入ったふきんを気づかずに絞って指に傷を負った。  (軽傷)	当該製品は強化ガラス製で、破壊起点にクラックが認められたことから、使用時などの応力によりクラックが伸展して内部張力層に達し、表面圧縮応力と内部張力の平衡が崩れ、一気に破損に至ったものと考えられるが、クラックが生じた時点は不明であり、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、強化ガラス取扱いに関して、取扱説明書の注意事項を追記するとともに、なべぶたに注意シールを貼付し、注意喚起を図ることとした。	消費者センター   (受付:2008/04/03)
2008-0121 2008/04/06  (事故発生地) 東京都	なべぶた(強化ガラス製)  使用期間：約3年	なべで味噌汁を調理した後、ふたをした途端、ガラス製のふた(取手部は樹脂製)が粉々に砕けて、なべの中にガラス片が落ちた。  (製品破損)	事故品のふたは強化ガラス製であることから、表面についていた傷や製造工程で混入した異物などが起点となり、調理後にふたをしたことによる急加熱も影響し破損に至ったものと考えられるが、起点となった傷等が確認できず、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター   (受付:2008/04/07)

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6972 2008/01/19  (事故発生地) 神奈川県	ピザカッター  ドミノ・ピザ オリジナル ピザカッター  (株)スマイル  使用期間：不 明	ピザに付いていたピザカッターの取 っ手の通し穴部分のバリが指先に刺さ り、けがを負った。   (軽傷)	カッター（ステンレス製）の取っ手の通し穴を作る 打ち抜き加工の際に用いる金型が摩耗していたため、 通し穴の縁部分にバリが生じ、指先が接触した際に負 傷したものと推定される。   (A2)	当該品は宅配ピザに付けていたもので、 2008（平成20）年2月25日に配布を中止 するとともに、3月28日付のホームページに注 意喚起文を掲載し、3月31日から店頭掲示及び 該当顧客へのDMを郵送し、回収している。	輸入事業者    (受付:2008/03/14)
2007-6973 2008/02/10  (事故発生地) 長野県	ピザカッター  ドミノ・ピザ オリジナル ピザカッター  (株)スマイル  使用期間：不 明	ピザに付いていたピザカッターの取 っ手の通し穴部分のバリが指先に刺さ り、けがを負った。   (軽傷)	カッター（ステンレス製）の取っ手の通し穴を作る 打ち抜き加工の際に用いる金型が摩耗していたため、 通し穴の縁部分にバリが生じ、指先が接触した際に負 傷したものと推定される。   (A2)	当該品は宅配ピザに付けていたもので、 2008（平成20）年2月25日に配布を中止 するとともに、3月28日付のホームページに注 意喚起文を掲載し、3月31日から店頭掲示及び 該当顧客へのDMを郵送し、回収している。	輸入事業者    (受付:2008/03/14)
2007-6974 2008/02/23  (事故発生地) 香川県	ピザカッター  ドミノ・ピザ オリジナル ピザカッター  (株)スマイル  使用期間：不 明	ピザに付いていたピザカッターの取 っ手の通し穴部分のバリが指先に刺さ り、けがを負った。   (軽傷)	カッター（ステンレス製）の取っ手の通し穴を作る 打ち抜き加工の際に用いる金型が摩耗していたため、 通し穴の縁部分にバリが生じ、指先が接触した際に負 傷したものと推定される。   (A2)	当該品は宅配ピザに付けていたもので、 2008（平成20）年2月25日に配布を中止 するとともに、3月28日付のホームページに注 意喚起文を掲載し、3月31日から店頭掲示及び 該当顧客へのDMを郵送し、回収している。	輸入事業者    (受付:2008/03/14)
2008-0136 2008/01/07  (事故発生地) 東京都	ピザカッター  ドミノ・ピザ オリジナル ピザカッター  (株)スマイル  使用期間：不 明	ピザに付いていたピザカッターの取 っ手の通し穴部分で指先に裂傷を負っ た。   (軽傷)	カッター（ステンレス製）の取っ手の通し穴を作る 打ち抜き加工の際に用いる金型が摩耗していたため、 通し穴の縁部分にバリが生じ、指先が接触した際に負 傷したものと推定される。   (A2)	当該品は宅配ピザに付けていたもので、 2008（平成20）年2月25日に配布を中止 するとともに、3月28日付のホームページに注 意喚起文を掲載し、3月31日から店頭掲示及び 該当顧客へのDMを郵送し、回収している。	輸入事業者    (受付:2008/04/09)

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1972 2007/06/03  (事故発生地) 熊本県	びん（デカンタ）  使用期間：約1年	景品のデカンタに移していたウISKIを飲んだところ、口の中で「ジャリッ」と音がしてガラス片が出てきた。  (製品破損)	ガラス製の栓をする際、栓底面の外縁部と本体の口部とが接触し、微細な傷が生じて、繰り返しの使用により傷が進展し破損したことから、破片がびん内部に落ちていたものと推定される。  (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、以後の製品については、栓底部を面取り加工し、衝撃力の減衰を図った。	消費者センター  (受付:2007/06/25)
2007-6944 2008/03/10  (事故発生地) 東京都	びん（金属キャップ付）  チオビタドリンク  大鵬薬品工業（株）  使用期間：不明	ドリンク剤のびんの蓋を開ける際、金属キャップの一部がささくれているために指先が1cm程切れた。  (軽傷)	開栓する方向によって稀にキャップのV S（開栓時に切れるように切れ目が入っている部分）が切れずに、幅広ブリッジ（開栓時に切れずに残る部分）が切れて鋭利な状態になる場合があるため、開栓時に誤って指を切ったものと推定される。 なお、他社製品でも同様の結果になる場合があることから、当該事象は当該製品に限らず開け方によっては起こり得ると思われるが、当該製品には開栓時における注意表示がなかった。	ホームページ上で開栓時における手指等へのけがに対する注意喚起を行った。また、2008（平成20）年7月製造分からは、キャップ側面に、開栓時に手指のケガに注意する旨の注意表示を行った。	消費者センター  (受付:2008/03/13)
2007-2403 2007/06/19  (事故発生地) 埼玉県	ふた（なべ用、アルミ製）  20cm  (株)大創産業  使用期間：約1日	アルミ製のなべのふたを洗っていたところ、右手小指と薬指のつけ根を切った。  (軽傷)	ふたのエッジ部分の仕上げを手作業で行っていたが、製造工程に不備があり、ふたのエッジ部分の鋭いものが混入したものと推定される。  (A2)	店頭在庫を回収するとともに、製造工場に対してふたのエッジ部分の仕上げを丸くするよう指示した。	市町村  (受付:2007/07/24)
2007-2368 2007/06/08  (事故発生地) 東京都	ふた（なべ用、ガラス製）  18cm  (株)キャンドウ  使用期間：約1か月	なべにふたをしてかぼちゃを煮ていたところ、突然異音が生じてつまみが吹き飛びガラスが割れた。  (製品破損)	事故品は強化ガラス製であり、ガラス表面に傷があったことから、製造・輸送・使用等の際に傷が生じ、使用時の熱によって傷が進展し破壊に至ったものと推定される。 なお、販売業者は耐熱ガラスとの認識であり、実際の発注と異なる強化ガラスであったことを確認せずに輸入・販売したため、強化ガラスの取り扱いに関する表示等はなかった。  (A3)	在庫品を回収するとともに店頭告知によって製品の回収を行っている。 なお、当該品の販売を中止した。	消費者センター  (受付:2007/07/23)



## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-7237 2008/03/22  (事故発生地) 北海道	フライパン  使用期間：約1か月	8才の子供がガスこんろで調理中に、ミニフライパン（直径14cm）が傾き、フライパンに入っていた加熱した油がこぼれて、手と足に火傷を負った。  (軽傷)	ガスこんろの五徳上にフライパンを載せた位置や載せ方等が不安定であったため、被害者がフライパンの取っ手から手を離れた際にフライパンが傾き、中の油がこぼれた可能性が考えられるが、使用していたガスこんろの五徳の状況や事故時の状況等が不明のため、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、取扱説明書の使用上の注意書きには、「こんろの中央部に乗せて安定させて使用してください。」等の記載を行っていたが、子供が取り扱う上での注意喚起を追加するなどの見直しを行った。	消費者センター  (受付:2008/03/28)
2008-0879 2008/05/27  (事故発生地) 石川県	フライパン  使用期間：約1か月	フライパンで調理中、突然爆発音とともにフライパンが30cmほど飛び上がった。  (製品破損)	水道水内の鉄粉及び家庭用洗剤等の影響により、貼り底に孔食が発生し、孔食部から中層と貼り底の間に水分が侵入した状態で加熱されたため、蒸気圧により内部から破裂しフライパンが飛び上がったと考えられるが、孔食部から腐食の原因となるような物質が検出されなかったことから原因は不明である。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該品は2007（平成19）年7月より輸入・販売を中止している。	消費者センター  (受付:2008/05/29)
2006-1216 2006/05/00  (事故発生地) 東京都	フライパン（アルミ製）  クロワッサンリボルバー CRR-28 I  (株) エポラス  使用期間：不明	調理中にフライパンの折り畳み式ハンドルが突然折れ曲がり、料理がこぼれた。  (製品破損)	輸送もしくは使用中にハンドルに衝撃が加わったことから、ハンドルの回転軸面にひび割れが発生し、繰り返し使用により金具固定軸が破損し、ハンドルが折れ曲がったものと推定されるが、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているため、2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者  (受付:2006/09/05)
2006-2904 2007/01/07  (事故発生地) 北海道	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リボルバー CRR-28 I  (株) エポラス  使用期間：約8か月	調理中に、フライパンの折り畳み式ハンドルが突然折れ曲がり、フライパンが女性の左手の甲にあたり火傷を負った。  (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除しないまま使用したことから、①ハンドル内部が摩耗しロック機能が不完全になった、②ハンドル組立に使用されているネジが緩んだ、③調理中にストッパーボタンに触れてロックが解除された等のいくつかの要因が影響して、調理中の動作で折れ曲がったものと推定されるが、使用中の詳細な状況や製造時の詳細な履歴等が不明であるため、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているため、2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者  消費者センター  (受付:2007/01/22)

製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3130 2005/00/00  (事故発生地) 広島県	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-26F  (株) エポラス  使用期間：不 明	調理中に、フライパンの折り畳み式 ハンドルが突然折れ曲がり、火傷をし た。   (軽傷)	ハンドルのロックに使用されているスプリングが腐 食し、ロック機能が働かなくなったため、調理中の動 作で折れ曲がったものと推定される。   (A1)	2007（平成19）年2月9日付けの新聞及 びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハ ンドルに無償交換している。	輸入事業者   (受付:2007/01/31)
2006-3131 2005/03/00  (事故発生地) 北海道	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-26F  (株) エポラス  使用期間：不 明	調理中に、フライパンの折り畳み式 ハンドルが突然折れ曲がり、火傷をし た。   (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除 しないまま使用したことから、①ハンドル内部が摩耗 しロック機能が不完全になった、②ハンドル組立に使用 されているネジが緩んだ、③調理中にストッパーボ タンに触れてロックが解除された等のいくつかの要因 が影響して、調理中の動作で折れ曲がったものと推定 されるが、使用中の詳細な状況や製造時の詳細な履歴 等が不明であるため、原因の特定はできなかった。   (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているた め、2007（平成19）年2月9日付けの新聞 及びホームページで社告を行い、ロックレバー式 ハンドルに無償交換している。	輸入事業者   (受付:2007/01/31)
2006-3132 2005/07/00  (事故発生地) 愛知県	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-26F  (株) エポラス  使用期間：約2か月	調理中に、フライパンの折り畳み式 ハンドルが突然折れ曲がり、軽い火傷 を負った。   (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除 しないまま使用したことから、①ハンドル内部が摩耗 しロック機能が不完全になった、②ハンドル組立に使用 されているネジが緩んだ、③調理中にストッパーボ タンに触れてロックが解除された等のいくつかの要因 が影響して、調理中の動作で折れ曲がったものと推定 されるが、使用中の詳細な状況や製造時の詳細な履歴 等が不明であるため、原因の特定はできなかった。   (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているた め、2007（平成19）年2月9日付けの新聞 及びホームページで社告を行い、ロックレバー式 ハンドルに無償交換している。	輸入事業者   (受付:2007/01/31)
2006-3133 2005/08/00  (事故発生地) 東京都	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-28 I  (株) エポラス  使用期間：不 明	調理中に、フライパンの折り畳み式 ハンドルが突然折れ曲がり、手に火傷 を負った。   (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除 しないまま使用したことから、①ハンドル内部が摩耗 しロック機能が不完全になった、②ハンドル組立に使用 されているネジが緩んだ、③調理中にストッパーボ タンに触れてロックが解除された等のいくつかの要因 が影響して、調理中の動作で折れ曲がったものと推定 されるが、使用中の詳細な状況や製造時の詳細な履歴 等が不明であるため、原因の特定はできなかった。   (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているた め、2007（平成19）年2月9日付けの新聞 及びホームページで社告を行い、ロックレバー式 ハンドルに無償交換している。	輸入事業者   (受付:2007/01/31)

製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3134 2005/09/00  (事故発生地) 不明	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-26F  (株) エポラス  使用期間：約8回	7～8回くらいしか使っていないのに、使用中にフライパンの折り畳み式ハンドルが折れ曲がり、手に火傷を負った。  (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除しないまま折りたためたことから、ハンドル内部が摩耗しロック機能が不完全になり、調理中の動作で折れ曲がったものと推定される。  (A1)	2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者    (受付:2007/01/31)
2006-3135 2005/10/00  (事故発生地) 三重県	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-26F  (株) エポラス  使用期間：不明	調理後、食材を皿に移そうとしたところ、フライパンの折り畳み式ハンドルが折れ曲がり、手の甲に火傷をした。  (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除しないまま使用したことから、①ハンドル内部が摩耗しロック機能が不完全になった、②ハンドル組立に使用されているネジが緩んだ、③調理中にストッパーボタンに触れてロックが解除された等のいくつかの要因が影響して、調理中の動作で折れ曲がったものと推定されるが、使用中の詳細な状況や製造時の詳細な履歴等が不明であるため、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているため、2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者    (受付:2007/01/31)
2006-3136 2006/03/00  (事故発生地) 不明	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-26F  (株) エポラス  使用期間：不明	調理後、食材を皿に移そうとしたところ、フライパンの折り畳み式ハンドルが突然折れ曲がり、火傷をした。  (軽傷)	ハンドル組立に使用されている本体側のネジが緩んだことから、ロック機能が働かなくなったため、調理中の動作で折れ曲がったものと推定される。  (A1)	2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者    (受付:2007/01/31)
2006-3137 2006/05/00  (事故発生地) 東京都	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-26F  (株) エポラス  使用期間：不明	調理後、食材を皿に移そうとしたところ、フライパンの折り畳み式ハンドルが折れ曲がり、腕に火傷を負った。  (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除しないまま使用したことから、①ハンドル内部が摩耗しロック機能が不完全になった、②ハンドル組立に使用されているネジが緩んだ、③調理中にストッパーボタンに触れてロックが解除された等のいくつかの要因が影響して、調理中の動作で折れ曲がったものと推定されるが、使用中の詳細な状況や製造時の詳細な履歴等が不明であるため、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているため、2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者    (受付:2007/01/31)

製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3138 2006/06/00  (事故発生地) 北海道	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-26F  (株) エポラス  使用期間：不 明	食材を皿に移そうとしたところ、フライパンの折り畳み式ハンドルが折れ曲がり、指に火傷を負った。   (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除しないまま使用したことから、①ハンドル内部が摩耗しロック機能が不完全になった、②ハンドル組立に使用されているネジが緩んだ、③調理中にストッパーボタンに触れてロックが解除された等のいくつかの要因が影響して、調理中の動作で折れ曲がったものと推定されるが、使用中の詳細な状況や製造時の詳細な履歴等が不明であるため、原因の特定はできなかった。   (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているため、2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者   (受付:2007/01/31)
2006-3139 2006/08/00  (事故発生地) 大阪府	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-26F  (株) エポラス  使用期間：約1年	フライパンの折り畳み式ハンドルが突然折れ曲がり、火傷をした。   (軽傷)	ハンドルのロックに使用されているスプリングが腐食し、ロック機能が動かなくなったため、調理中の動作で折れ曲がったものと推定される。   (A1)	2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者   (受付:2007/01/31)
2006-3140 2006/08/00  (事故発生地) 不明	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-28 I  (株) エポラス  使用期間：約1か月	フライパンの折り畳み式ハンドルが緩んできて、調理中に火傷を負った。   (軽傷)	ハンドル収納時はロックを解除して左に曲げるところを右に無理に曲げたため、ロック機構が破損し、調理中の動作で折れ曲がったものと推定される。   (B1)	2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者   (受付:2007/01/31)
2006-3141 2006/08/00  (事故発生地) 大阪府	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-28 I  (株) エポラス  使用期間：約5か月	調理中に、フライパンの折り畳み式ハンドルが突然折れ曲がり、手の甲に火傷を負った。   (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除しないまま使用したことから、①ハンドル内部が摩耗しロック機能が不完全になった、②ハンドル組立に使用されているネジが緩んだ、③調理中にストッパーボタンに触れてロックが解除された等のいくつかの要因が影響して、調理中の動作で折れ曲がったものと推定されるが、使用中の詳細な状況や製造時の詳細な履歴等が不明であるため、原因の特定はできなかった。   (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているため、2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者   (受付:2007/01/31)

製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-3142 2006/08/00  (事故発生地) 奈良県	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-28 I  (株) エポラス  使用期間：不 明	フライパンの折り畳み式ハンドルが突然折れ曲がり、火傷をした。   (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除しないまま使用したことから、①ハンドル内部が摩耗しロック機能が不完全になった、②ハンドル組立に使用されているネジが緩んだ、③調理中にストッパーボタンに触れてロックが解除された等のいくつかの要因が影響して、調理中の動作で折れ曲がったものと推定されるが、使用中の詳細な状況や製造時の詳細な履歴等が不明であるため、原因の特定はできなかった。   (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているため、2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者   (受付:2007/01/31)
2006-3143 2006/10/00  (事故発生地) 北海道	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-26F  (株) エポラス  使用期間：約5か月	収納時、フライパンの折り畳み式ハンドルが折れ曲がり、火傷をした。   (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除しないまま使用したことから、①ハンドル内部が摩耗しロック機能が不完全になった、②ハンドル組立に使用されているネジが緩んだ、③調理中にストッパーボタンに触れてロックが解除された等のいくつかの要因が影響して、調理中の動作で折れ曲がったものと推定されるが、使用中の詳細な状況や製造時の詳細な履歴等が不明であるため、原因の特定はできなかった。   (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているため、2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者   (受付:2007/01/31)
2006-3144 2006/12/00  (事故発生地) 大阪府	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-28 I  (株) エポラス  使用期間：不 明	フライパンの折り畳み式ハンドルがぐらつき、調理中に火傷をした。   (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除しないまま使用したことから、①ハンドル内部が摩耗しロック機能が不完全になった、②ハンドル組立に使用されているネジが緩んだ、③調理中にストッパーボタンに触れてロックが解除された等のいくつかの要因が影響して、調理中の動作で折れ曲がったものと推定されるが、使用中の詳細な状況や製造時の詳細な履歴等が不明であるため、原因の特定はできなかった。   (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているため、2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者   (受付:2007/01/31)
2006-3145 2006/12/00  (事故発生地) 東京都	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-28 I  (株) エポラス  使用期間：約6か月	調理中に、フライパンの折り畳み式ハンドルが突然折れ曲がり、火傷をした。   (軽傷)	過去にハンドルのロック（ボタン式）を完全に解除しないまま使用したことから、①ハンドル内部が摩耗しロック機能が不完全になった、②ハンドル組立に使用されているネジが緩んだ、③調理中にストッパーボタンに触れてロックが解除された等のいくつかの要因が影響して、調理中の動作で折れ曲がったものと推定されるが、使用中の詳細な状況や製造時の詳細な履歴等が不明であるため、原因の特定はできなかった。   (G1)	事故原因は不明であるが事故が多発しているため、2007（平成19）年2月9日付けの新聞及びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハンドルに無償交換している。	輸入事業者   (受付:2007/01/31)

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-1546 2007/05/29  (事故発生地) 鳥取県	フライパン（アルミ製）  クロワッサン リポルバー CRR-26F  (株) エポラス  使用期間：約1年	調理中に、フライパンの折り畳み式 ハンドルが曲がり、左手の甲に当たっ て1cmくらいの水ぶくれができた。   (軽傷)	ハンドルのロックに使用されているスプリングが腐 食し、ロック機能が働かなくなったため、調理中の動 作で折れ曲がったものと推定される。   (A1)	2007（平成19）年2月9日付けの新聞及 びホームページで社告を行い、ロックレバー式ハ ンドルに無償交換している。	輸入事業者      (受付:2007/06/12)
2008-2300 2008/08/30  (事故発生地) 群馬県	フライパン（深型）    使用期間：約3年	深めのフライパンを持ち上げたところ、 取っ手が外れてフライパンがガス こんろ上に落ちた。   (製品破損)	取っ手部分の固定用付属部品（棒状のネジ）が外れた 状態で使用を続けたため、事故品を持ち上げた時に取 っ手が外れたものと推定される。   (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措 置はとらなかった。	消費者センター      (受付:2008/09/03)
2007-5428 2007/11/21  (事故発生地) 兵庫県	フライパン（深形）  CO3-IN28  日本マイヤー（株）  使用期間：不 明	フライパンの取っ手が破損した。   (製品破損)	取っ手部分（フェノール樹脂製）はコンプレッショ ン方式にて成形しているが、焼成温度や時間等の不均 一により必要な熱が中心部まで伝わらず、樹脂が十 分に軟化しないまま成形したことで部分的に肉厚が薄 くなり、その部分の強度が弱かったことと、取っ手を 取り付けるネジを基準以上のトルクで締め付けたため の過剰の負荷によって、取っ手が破損したものと推定 される。   (A2)	販売店では、2008（平成20）年1月14 日付のホームページに社告を掲載し、製品の回収 を行っている。 なお、当該製品の販売を中止するとともに、今 後の取っ手の成形方式を、コンプレッション方式 からインジェクション方式に変更し、品質管理を 強化することとした。	輸入事業者      (受付:2008/01/15)
2007-5429 2007/12/21  (事故発生地) 兵庫県	フライパン（深形）  CO3-IN28  日本マイヤー（株）  使用期間：不 明	フライパンの取っ手が破損した。   (製品破損)	取っ手部分（フェノール樹脂製）はコンプレッショ ン方式にて成形しているが、焼成温度や時間等の不均 一により必要な熱が中心部まで伝わらず、樹脂が十 分に軟化しないまま成形したことで部分的に肉厚が薄 くなり、その部分の強度が弱かったことと、取っ手を 取り付けるネジを基準以上のトルクで締め付けたため の過剰の負荷によって、取っ手が破損したものと推定 される。   (A2)	販売店では、2008（平成20）年1月14 日付のホームページに社告を掲載し、製品の回収 を行っている。 なお、当該製品の販売を中止するとともに、今 後の取っ手の成形方式を、コンプレッション方式 からインジェクション方式に変更し、品質管理を 強化することとした。	輸入事業者      (受付:2008/01/15)



## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-1452 2008/06/06  (事故発生地) 東京都	ポット（ガラス製）  使用期間：約1か月	ガラス製ポットに熱い麦茶を入れたところ、ポットのガラス全体が割れ、熱湯が太ももにかかり2度の火傷を負った。  (重傷)	事故品は、耐熱ガラスではなかったが、厚手であったことから、被害者は耐熱性のあるものと誤解して熱い麦茶を入れたため、熱衝撃によりガラスが割れて内容物が足にかかり、火傷を負ったものと推定される。 なお、取扱説明書に「熱湯を入れたり、急冷したり急激な温度変化を加えない」旨の記載と、本体の貼付シールに「熱湯使用禁止」の注意表示がされていた。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、取扱説明書に耐熱ガラスではないこと明記することとした。	消費者センター  (受付:2008/07/11)
2008-2883 2008/08/10  (事故発生地) 鳥取県	ポット（耐熱ガラス製）  使用期間：約5年	ガラス製ポットに熱湯を入れてテーブルの上に置いたところ、「パリパリ」と音がし、持ち上げた際に底が抜け、熱湯が左足内ももから膝上にかかって火傷を負った。  (軽傷)	事故品は、底部分の外周に沿って切断したように破損しており、起点とみられる箇所が確認された。 使用期間が5年であることから、使用中に生じた傷が、熱湯を入れた際の熱衝撃によって伸展し、持ち上げた際の重力により底面の全周破壊に至ったものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター  (受付:2008/10/02)
2008-0545 2008/04/20  (事故発生地) 埼玉県	ポップコーンメーカー（電子レンジ用）  使用期間：不明	使用中の電子レンジ用ポップコーンメーカーから発煙し、コーンが炭化してプラスチック製の受け皿が溶けた。  (製品破損)	同等品を用いた再現テストでは、表示方法どおりに使用した場合には異常は認められず、投入する調理材料や加熱時間が規定量を超えた場合に、本体及び材料に変形や炭化がみられたが、使用状況等の詳細が不明であり、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	輸入事業者  (受付:2008/04/28)
2008-2568 2008/08/01  (事故発生地) 京都府	ポテトチップスメーカー（電子レンジ用）  使用期間：約2回	電子レンジ用ポテトチップスメーカーを使ってポテトチップスを作ったところ、異臭がし、取り出す際に手のひらに火傷を負った。  (軽傷)	事故品は、ポリプロピレン製（耐熱温度140℃）の高さ約15mmの円盤状の台で、台座及び上面の一部が流れるように溶融し欠落していたことから、過加熱等で溶融した樹脂により火傷を負ったものと考えられるが、使用状況等の詳細が不明であり、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター  (受付:2008/09/12)

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-5926 2008/01/00  (事故発生地) 東京都	まほうびん  使用期間：約1年3か月	ステンレスポットに熱湯を入れて使用していたところ、本体が異常に熱くなって持てない。  (被害なし)	当該品の外胴と底面の溶接部が腐食して穴があき、真空を保てなくなったため、熱湯の熱が本体に伝わり、熱くなったと思われる。腐食が生じた原因は、樹脂底を固定している接着剤の隙間から水などが浸入した可能性があるが、特定できなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、今後の製品の製造に当たっては接着剤の塗布状態の確認検査を徹底するよう製造部門に指示し、丸洗いについては禁止としているが、今後は丸洗いしても内部に水が浸入しない構造を採用することとした。	消費者センター  (受付:2008/02/01)
2006-4043 2007/03/19  (事故発生地) 鹿児島県	まほうびん（エアポット式）  使用期間：約10日	湯を入れたポットから「バリ」の音がして、湯が漏れ、内びんが割れていた。  (製品破損)	検品漏れによる単品不良とみているが、ガラス部分が粉々になっているため、割れた原因についてはできなかった。  (G1)	中国での全数検品及び輸入後の全数検品を再度徹底する。	消費者センター  (受付:2007/03/28)
2008-1662 2008/07/29  (事故発生地) 大阪府	まほうびん（ガラス製）  使用期間：約10日	空のまほうびんに氷を5個くらい入れたところ、破裂して中のガラスが粉々に砕け、ポットの外にも飛び散った。 なお、当該製品はソーダ石灰ガラス製の真空二重びんで、購入後5～6回、同様に氷を入れて使用していた。  (製品破損)	同等品で再現試験を行ったところ、繰り返し氷を入れることで破損する場合はあったことから、氷を入れた衝撃によって破損したものと推定される。 なお、氷を入れる場合には、フリーザーバッグなどを使用する旨の表示があった。  (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該製品の販売を中止するとともに、2008（平成20）年10月下旬から、ホームページ上で「氷を入れない」旨の注意喚起を行った。	消費者センター  (受付:2008/07/31)
2008-2242 2006/10/08  (事故発生地) 東京都	まほうびん（ガラス製）  使用期間：未使用	まほうびんを洗浄後、沸かした湯を入れたところ、突然破損した。 なお、当該製品はソーダ石灰ガラス製の真空二重びんであった。  (製品破損)	全ての破片を回収できなかったことから破損の起点は特定できず、詳細な使用状況等も不明であるため、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該製品の販売を中止した。	輸入事業者  (受付:2008/09/01)

製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2243 2006/11/13  (事故発生地) 神奈川県	まほうびん（ガラス製）  使用期間：未使用	洗浄後のまほうびんが、突然破損した。 なお、当該製品はソーダ石灰ガラス製の真空二重びんであった。  (製品破損)	全ての破片を回収できなかったことから破損の起点は特定できず、詳細な使用状況等も不明であるため、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該製品の販売を中止した。	輸入事業者  (受付:2008/09/01)
2008-2244 2007/04/27  (事故発生地) 神奈川県	まほうびん（ガラス製）  使用期間：未使用	洗浄中のまほうびんが、突然破損した。 なお、当該製品はソーダ石灰ガラス製の真空二重びんであった。  (製品破損)	全ての破片を回収できなかったことから破損の起点は特定できず、詳細な使用状況等も不明であるため、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該製品の販売を中止した。	輸入事業者  (受付:2008/09/01)
2008-2245 2007/10/05  (事故発生地) 新潟県	まほうびん（ガラス製）  使用期間：約40日	洗浄中のまほうびんが、突然破損した。 なお、当該製品はソーダ石灰ガラス製の真空二重びんであった。  (製品破損)	全ての破片を回収できなかったことから破損の起点は特定できず、詳細な使用状況等も不明であるため、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該製品の販売を中止した。	輸入事業者  (受付:2008/09/01)
2008-2246 2007/12/16  (事故発生地) 東京都	まほうびん（ガラス製）  使用期間：未使用	洗浄中のまほうびんが、突然破損した。 なお、当該製品はソーダ石灰ガラス製の真空二重びんであった。  (製品破損)	全ての破片を回収できなかったことから破損の起点は特定できず、詳細な使用状況等も不明であるため、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該製品の販売を中止した。	輸入事業者  (受付:2008/09/01)

製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2247 2008/03/17  (事故発生地) 千葉県	まほうびん（ガラス製）  使用期間：不明	洗浄中のまほうびんが、突然破損した。 なお、当該製品はソーダ石灰ガラス製の真空二重びんであった。  (製品破損)	全ての破片を回収できなかったことから破損の起点は特定できず、詳細な使用状況等も不明であるため、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該製品の販売を中止した。	輸入事業者  (受付:2008/09/01)
2008-2248 2008/04/14  (事故発生地) 東京都	まほうびん（ガラス製）  使用期間：未使用	洗浄後のまほうびんが、突然破損した。 なお、当該製品はソーダ石灰ガラス製の真空二重びんであった。  (製品破損)	全ての破片を回収できなかったことから破損の起点は特定できず、詳細な使用状況等も不明であるため、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該製品の販売を中止した。	輸入事業者  (受付:2008/09/01)
2008-2249 2008/07/17  (事故発生地) 京都府	まほうびん（ガラス製）  使用期間：約30日	洗浄後に乾燥させたまほうびんに氷を入れたところ、破損して破片が飛散した。 なお、当該製品はソーダ石灰ガラス製の真空二重びんであった。  (製品破損)	同等品で再現試験を行ったところ、繰り返し氷を入れることで破損する場合があったことから、氷を入れた衝撃によって破損したものと推定される。 なお、氷を入れる場合には、フリーザーバッグなどを使用する旨の表示があった。  (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該製品の販売を中止するとともに、2008（平成20）年10月下旬から、ホームページ上で「氷を入れない」旨を告知した。	輸入事業者  (受付:2008/09/01)
2008-2250 2008/07/18  (事故発生地) 東京都	まほうびん（ガラス製）  使用期間：約7日	まほうびんに氷を入れたところ、突然破損した。 なお、当該製品はソーダ石灰ガラス製の真空二重びんであった。  (製品破損)	同等品で再現試験を行ったところ、繰り返し氷を入れることで破損する場合があったことから、氷を入れた衝撃によって破損したものと推定される。 なお、氷を入れる場合には、フリーザーバッグなどを使用する旨の表示があった。  (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該製品の販売を中止するとともに、2008（平成20）年10月下旬から、ホームページ上で「氷を入れない」旨を告知した。	輸入事業者  (受付:2008/09/01)

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-2251 2008/08/13  (事故発生地) 大阪府	まほうびん（ガラス製）  使用期間：約25日	まほうびんに氷を入れたところ、突然破損した。 なお、当該製品はソーダ石灰ガラス製の真空二重びんであった。  (製品破損)	同等品で再現試験を行ったところ、繰り返し氷を入れることで破損する場合があったことから、氷を入れた衝撃によって破損したものと推定される。 なお、氷を入れる場合には、フリーザーバッグなどを使用する旨の表示があった。  (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該製品の販売を中止するとともに、2008（平成20）年10月下旬から、ホームページ上で「氷を入れない」旨を告知した。	輸入事業者  (受付:2008/09/01)
2008-3141 2008/09/27  (事故発生地) 不明	まほうびん（ガラス製）  使用期間：約1日	まほうびんに氷を少し入れた状態で麦茶を注いだところ、破裂音とともに破片が飛び散って顔などに当たり、手の甲に軽い切り傷を負った。  (軽傷)	中びんがソーダ石灰製ガラスの当該製品に、氷を入れた状態で麦茶を注いだことによる熱衝撃で破損した可能性が考えられるが、起点等が確認できず、原因の特定はできなかった。 なお、表示には、「氷を入れない」旨の注意とともに、入れた場合に「中のガラスが破損する」危険性について記載していた。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、当該製品の製造・販売は既に終了しており、今後の類似製品にあつては、「氷を入れない」旨の注意表示の文字を大きくし、販売店において店頭POP表示を設置することとした。	輸入事業者  (受付:2008/10/20)
2007-2335 2007/07/02  (事故発生地) 千葉県	まほうびん（ステンレス製）  U-P776  (株)アトラス  使用期間：未使用	取扱説明書に従って使用前にステンレスボトルをスポンジで洗浄していたところ、ボトルのキャップ内側から製品本体と同じ赤色の大量の色素が洗浄スポンジに付着した。  (被害なし)	製造過程における着色顔料の配分設定ミスによって製品表面に顔料が残留したものが、一部に混入したものと推定される。  (A3)	在庫品については、顔料の付着がないことを全数検査で確認し、流通品については食品衛生法に基づく溶出試験を抜き取りで実施し、安全性を確認した。	消費者  (受付:2007/07/19)
2007-4787 2007/00/00  (事故発生地) 熊本県	まほうびん（ステンレス製）  使用期間：約1年	ステンレスボトルのキャップ内側を洗剤をつけたスポンジで洗浄したところ、ボトル本体と同じ色がスポンジに付着した。  (製品破損)	洗剤をつけたスポンジで事故品のキャップ内側等を洗浄したが、スポンジへの色素の付着は認められず、食品衛生法に基づく「食品、添加物等の規格基準」に基づく検査の結果は全項目について適合しており、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者  (受付:2007/12/07)



## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2006-2429 2006/12/14   (事故発生地) 東京都	圧力なべ  3SN-2007K  (株)ドウシヤ  使用期間：約3年	圧力なべで大豆を煮たところ、10分程して破裂し、窓ガラスが割れ戸棚に穴が開き、煮汁が周囲に飛び散った。なべはふたが外れておらず、取っ手が取れていた。	豆料理の際の注意表示等が不十分であったために、目詰まり防止メッシュキャップを装着せずに大豆を煮たため、圧力調整ノズル・安全弁に豆の皮が付着し塞いだことで圧力鍋の内圧が高まり、パッキン押し出し窓からパッキンがはみ出し、内容物が噴出したことにより圧力なべが激しく動き、こんろから床に落ち、落ちた衝撃で釜及び取っ手が破損したものと推定される。	他に同種事故は発生していないが、平成19年6月19日付けで豆料理をする際の注意点をホームページに掲載することとした。 なお、今後の生産分より蓋の表示及び取扱説明書の改訂を行うとともに、平成19年8月末販売分より調整弁に取り付ける安全キャップの仕様を変更し、豆皮等が付着した際でも蒸気が出るような構造変更を行うこととした。	消費者センター    (受付:2006/12/18)
2007-5716 2008/01/18   (事故発生地) 不明	圧力なべ  RF-60F  (株)日軽プロダクト  使用期間：約4年3か月	圧力なべで豆を煮ていたところ、ふたが飛んでガスこんろが破損した。	ふたと支持具（アーム）を止めているガイドネジのナットが緩んだために、支持具となべ本体側支持金具との重なりが偏りが生じ、片側の重なりが少なくなった状態で加熱、加圧されたため、支持具が支持金具から外れてふたが吹き飛んだものと推定されるが、ナットが緩んだ原因は特定できなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、同型品については、支持具と支持金具の寸法及び形状不良により、調理中に外れてなべふたが飛ぶおそれがあるため、2003（平成15）年11月5日付けの新聞及びホームページ・新聞折り込みチラシに社告を掲載し、製品の回収・無償交換を行っている。	製造事業者    (受付:2008/01/23)
2007-5723 2008/01/16   (事故発生地) 福岡県	圧力なべ  クック圧力鍋6.5L ZAP-6.5  関西軽金属工業（株）  使用期間：約10年	圧力なべで黒豆を煮ていたら鍋のふたが飛び上がり、IHクッキングヒーターのトップコートが粉々に割れた。 なお、ふたはロックせず、なべに載せただけの状態で使用していた。	長期使用（10年以上）によってふたのパッキンが劣化し、ふたの取っ手と本体との間に隙間が発生して、ふたの取っ手が本体の取っ手部に乗り上げる状態でふたを本体に載せたため隙間が塞がったこと及び微妙に爪が嵌合したことによって、加圧してふたが飛んだものと推定される。	経年劣化による事故とみられ、他に同種事故が発生していないことから、措置はとらなかった。	消費者センター    (受付:2008/01/23)
2007-6077 2007/06/14   (事故発生地) 神奈川県	圧力なべ  ティファール センサー2  (株)グループセブジャパン  使用期間：約3年	圧力鍋に水を約半分入れて沸騰させ、両手で持って移動しようとしたところ、取っ手が折れてなべが落下し、熱湯がかかって左足に火傷を負った。	事故品のフェノール樹脂製の取っ手は熱劣化を起こしており、未使用品と比較すると樹脂に混入されている木粉が多く偏りも見られた上、細かい鬆（す）やひび割れが確認されたことから、成形上の不具合により強度が弱かったところへ、繰り返しの使用による熱劣化が加わって折損したものと推定される。	製造初期の成形不具合による単品不良とみられる事故であるため、今後の事故発生に注視することとし、既販品についての措置はとらなかった。 なお、製造元に対し、成形条件等の再確認、原材料の見直し及び品質管理の徹底を要請した。	    (受付:2008/02/08)

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-0438 2008/04/13  (事故発生地) 千葉県	圧力なべ  使用期間：約10日	圧力なべの蓋を押さえる部分（補助取っ手）が、3回使用しただけで炭化した。  (製品破損)	なべを五徳の中心に置いて炎をなべの底からはみ出ないように調節した場合は、補助取っ手が炭化することはなかったことから、なべが五徳の中心からずれた状態で使用する等により、補助取っ手が高温にさらされて炭化したものと推定される。  (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、取扱説明書の注意事項を判り易くした。	消費者センター  (受付:2008/04/24)
2008-3554 2008/11/05  (事故発生地) 静岡県	圧力なべ  RF-60F  (株)日軽プロダクツ  使用期間：1回	圧力なべで煮物を調理中、ふたが斜め上に飛んだ。  (被害なし)	圧力なべのふたと本体とを固定する支持金具（なべ本体側）の成形不良により、支持具（ふた側）と支持金具との重なりが偏りが生じ、片側の重なりが少なくなった状態で加熱、加圧されたため、支持具が支持金具から外れてふたが吹き飛んだものと推定される。  (A2)	当該品については、支持具と支持金具の寸法及び形状不良により、調理中に外れてふたが飛ぶおそれがあるため、2003（平成15）年11月5日付けの新聞及びホームページ・新聞折り込みチラシに社告を掲載し、製品の回収・無償交換を行っている。	製造事業者  (受付:2008/11/21)
2006-1935 2006/09/26  (事故発生地) 愛媛県	圧力なべ（片手式）  使用期間：約4年	圧力なべで筑前煮を作るため、鍋の半分より少し低い位置まで水と具材を入れて調理中、大きな音とともに内容物が飛散し、女性が顔、胸、腕に火傷を負った。  (軽傷)	事故品の外観、形状、寸法、圧力調整おもり等の作動圧、嵌合部等について調査を行ったが、異常は認められず、当該現象も再現しないことから、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者  (受付:2006/11/13)
2008-3291 2008/10/23  (事故発生地) 神奈川県	缶詰缶（イージーオープン式）  クラウン プリンスオイル サーディン 125GX6  コストコホールセールジャパン（株）  使用期間：1回	缶詰缶を開けようとしたらプルトップ部分が取れ、指に軽傷を負った。  (軽傷)	プルタブと缶ふたを留めているリベットのカシメ不良があったために、プルタブを起こす際、カシメ部の周囲が一部破断し、プルタブ部で缶ふたが下方に十分な角度で折れ込まれないまま、プルタブを引き上げて開缶したことによって、缶ふたの破断が進行し、鋭利な切断部が生じ、指が当たって事故に至ったものと推定される。  (A2)	他に同種事故は発生しておらず、単品不良とみられる事故であるため、特に措置はとらなかった。	消費者センター  (受付:2008/10/30)

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6977 2008/03/03  (事故発生地) 愛知県	食器（コップ、ガラス製）  使用期間：1回	購入した当日にガラスコップを洗っていたら、上部がU字に割れて親指から人差し指にかけて7針縫うけがを負った。  (軽傷)	ガラスコップの上部に衝撃が加わったため、縦方向の1か所に亀裂が生じ、洗浄時に、それが下部から左右に拡がってU字状に破損し、その際に指を切ったものと考えられるが、亀裂が生じた時点は不明であり、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。  (受付:2008/03/14)	消費者センター
2007-5775 2008/01/16  (事故発生地) 千葉県	食器（コップ、強化ガラス製）  使用期間：約2年	コップに熱湯を注いだところ、急に破裂して粉々に砕け、破片が2m四方に飛び散り、近くにいた子供が手にかすり傷を負った。  (軽傷)	事故品は強化ガラス製であることから、表面についていた傷や製造工程で混入した異物などが起点となり、お湯を注いだ際の熱衝撃で破裂したものと考えられるが、起点となった傷等が確認できず、原因の特定はできなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、品質管理の一層の強化を行うこととした。  (受付:2008/01/28)	消費者センター
2008-0131 2008/03/28  (事故発生地) 東京都	食器（コップ、強化ガラス製）  Bormioli Rocco ロックバーマゲ  ジオ・インタナショナル（株） 使用期間：約1日	お茶を入れて運んでいる途中にコップが突然割れ、床に飛び散った破片で指にけがを負った。  (軽傷)	当該製品は、取っ手の取り付け部の形状から、取っ手の成形時の不具合によってまれにひずみを生じることがあり、破損の起点が取っ手の取り付け部に確認されたことから、成形時に生じたひずみを起点として破損に至ったものと推定される。  (A2)	単品不良とみられる事故であることから、措置はとらなかった。 なお、今後の製品については熱処理を加えて、取っ手取り付け部のひずみを解消し、通常のガラス製品として販売することとした。  (受付:2008/04/08)	消費者センター
2007-3672 2007/09/25  (事故発生地) 北海道	食器（スプーン）  使用期間：1回	購入後初めて使用したスプーンで、口の中を切った。  (軽傷)	スプーンのハンドルからつぼにかけての部分を手作業により研磨した際に、当該部分が薄く仕上げられたために、口の中で強く押しつけるなどによって事故に至った可能性が考えられるものの、事故時の状況等が不明なため、原因を特定することはできなかった。  (F2)	他に同種事故がなく、また、製品の欠陥に起因しない事故とみられるため、措置はとらなかった。 なお、当該品の製造及び販売を中止した。  (受付:2007/10/04)	消費者センター

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-2822 2007/06/11  (事故発生地) 東京都	食器（マグカップ）  販売促進用マグカップ  株式会社アトム工房  使用期間：約10日	マグカップに水を入れ、70℃に設定した電子レンジで温め、取り出そうと取っ手を持ったところ、指に2cm位の火傷を負った。  (軽傷)	当該製品は陶器製で、水分がしみこみやすい素地であり、事故品の口部に欠けている部分があったため、そこから素地にしみこんだ水が蒸発しきれず内部に残留したことから、電子レンジで加熱した際に残留した水分が過加熱となりマグカップ自体が高温となって事故に至ったものと推定される。  (A2)	他に同種事故はなく、単品不良とみられることから、措置はとらなかった。 なお、今後の同種製品については、欠けている場合は、電子レンジで加熱したときに異常に発熱する可能性がある旨を取扱説明書に記載する。また、検品の抜き取り検査数量を増加する。	消費者センター   (受付:2007/08/10)
2007-6691 2008/02/22  (事故発生地) 大阪府	食器（マグカップ）  美濃焼マグカップ 清流マグ  (株) 唐峰  使用期間：約1日	マグカップに熱湯を注いだところ、破裂音とともに割れ、右手の親指と左足の甲に火傷を負った。  (軽傷)	事故品は、白地に青色の模様が入っている陶磁器製のマグカップで、素地自体の熱膨張係数と、素地及び模様を使用した2種の釉薬の熱膨張率が、それぞれ大きく異なっていたため、応力が残留し、熱湯を注いだことでさらに応力が加わって割れたものと推定される。  (A2)	販売先31社に商品出荷中止と在庫品の回収を依頼するとともに、自社ホームページ及び販売委託先のホームページにおいて平成20年3月12日付けで商品回収の告知を行っている。また、当該事故品を販売した店舗においては、店頭で告知し回収を行っている。	消費者センター   (受付:2008/03/03)
2007-6926 2008/02/14  (事故発生地) 長野県	食器（紙コップ）  D2ペーパーカップ  (株) ケーヨー  使用期間：不明	紙コップにコーヒーを入れたところ、コーヒーが徐々に染み出し、ノートパソコンを汚損した。  (拡大被害)	原紙製造工程において、紙表面の防水加工が十分に施されなかったために、コーヒーが徐々に染み出し、漏れたものと推定される。  (A2)	当該品の輸入、販売を中止し、ホームページに社告を掲載するとともに、販売店で店頭告知を行い、平成20年3月7日から4月末日まで製品の回収を行った。 なお、以後の製品について、第三者機関での検査を実施し、出荷前の抜取検査における安全確認を強化して、販売を再開することとした。	輸入事業者   (受付:2008/03/12)
2008-0644 2008/04/04  (事故発生地) 宮城県	食器（茶こし付きマグカップ、耐熱ガラス製）  ライン柄 TCJ411-LN  (株) 岩城ハウスウエア  使用期間：不明	ガラス製マグカップのふたのエッジ部分で、指を切った。  (軽傷)	ガラス成形工程（溶断カット）において製品の固定に不具合があり、製品端部の一部にバーナーのフレームが当たって、焼き丸め不足によりバリ状になったものが、検品工程において除外されず良品に混入し、当該バリに指が接触した際、切ったものと推定される。  (A3)	他に同種事故は発生しておらず、単品不良とみられる事故であることから、措置はとらなかった。 なお、在庫品については販売を中止した。	製造事業者   (受付:2008/05/07)

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-1711 2008/07/26  (事故発生地) 岡山県	食品容器（インスタント食品用、電子レンジ加熱式）  使用期間：約1日1回	電子レンジ加熱式のカップスパゲティを電子レンジで加熱して取り出そうとした際、四角形の容器側面が熱かったため上側のかどを保持したところ、中指と人差し指に火傷を負った。  (軽傷)	被害者が事故品を電子レンジから取り出す際に、容器上部の角部分を保持したために、形が変形して容器上部の隙間が大きくなり、隙間から出ていた蒸気によって火傷を負ったものと推定される。 なお、当該製品は紙製で、同等品を確認したところ、調理後の容器側面は手で持てないほどの高温とはならず、製品には、「かどを持たない」旨と、ふた部分及び側面上部に「すきまからの蒸気に注意」する旨を表示している。  (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、当該製品は既に製造を終了しているが、今後製造する同種の製品について、容器側面上部の注意表示を大きくし、より見やすくなるよう改善することとした。	消費者センター  (受付:2008/08/04)
2008-0645 2008/05/05  (事故発生地) 滋賀県	石焼プレート（カセットこんろ用）  OB-ISHIPLATE  岩谷産業（株）  使用期間：1回	石焼プレートの受け皿を使用後に洗ったところ、バリがあり、左手指を切った。  (軽傷)	製造工程で受け皿にホーロー液を塗布した後、熱処理工程に運ぶ際にホーロー液が垂れてしまったため、熱処理後、バリとなって残ったもので、検査の過程で取り除かれるべきものが、出荷されたものと推定される。  (A3)	他に同種事故は発生しておらず、在庫品について全数検査を行ったが、同様のバリは確認できなかったことから、措置はとらなかった。 なお、次期生産分（2008（平成20）年6月以降）よりバリ取り工程及び検品工程の徹底をさらに強化することとした。	消費者センター  (受付:2008/05/07)
2007-2754 2007/06/30  (事故発生地) 北海道	栓抜き（王冠、コルク栓用、缶切り付）  アルプスセブン三徳缶切  プリンス工業（株）  使用期間：不明	王冠、コルク栓抜きと缶切りの3つの機能が付いた栓抜きを使って、ワインのコルクを抜こうとしたところ、コルク抜きがコルクに刺さったまま本体だけが外れ、その勢いで本体が右手人差し指に突き刺さり、けがを負った。  (軽傷)	ワイン抜きの螺旋部が伸びきり、コルク栓が抜けなくなったため、真っ直ぐ引かずいろいろな角度で引っ張ったことにより、ワイン抜きが破断し、本体に残った破断部だけが負ったものと推定される。  (B4)	他に同種事故が発生していないため、特に措置はとらないが、商品パッケージに「コルク抜きは真っ直ぐ引くこと。」「コルク螺旋部が変形した場合は使用しない。」等の注意表示を追加した。	消費者センター  (受付:2007/08/07)
2008-2112 2008/01/04  (事故発生地) 愛知県	卓上ポット（ステンレス製）  1.8L KOK 05-6734  コーナン商事（株）  使用期間：約1か月	使用中の卓上ポットの上部が外れた。  (製品破損)	当該品は、本体金属部（ボトル部分）と上部樹脂部（注ぎ口と持ち手部分）をはめ合わせているもので、製造時の不良部品が取り除かれずに組み立てられたため、はめ合いが不完全となったことで、本体ボトル部分が十分に保持されずに落下したものと推定される。  (A3)	2008（平成20）年1月15日以降、販売を中止するとともに、2008（平成20）年8月21日に店頭告知及びホームページで社告を掲載するとともに、9月23日以降新聞折り込みチラシにも掲載し、製品の回収を行っている。	輸入事業者  (受付:2008/08/25)





## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2008-1477 2008/06/23  (事故発生地) 兵庫県	包丁（ステンレス製）  使用期間：約7日	練習用包丁で母親が子供に使い方を教えていた際、母親が包丁の背の部分に指を添え力を加えたところ、添えていた右手人差し指先端に、紙で切ったような傷を負った。  (軽傷)	当該品を同等品と比較したところ、バリ等の異常は確認できず、また、同等品の峰（刃の背）の部分顕微鏡及び触感によって調べたが、バリなどはなく、エッジも面取り加工が施されており、異常は確認できなかった。使用時に強く押さえたまま擦ったために偶発的に負傷した等が考えられるものの、使用時の状況が不明なことから、原因は特定できなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、2008（平成20）年9月より製造するものについては、製品の安全性をさらに向上するために、峰の形状を丸くすることとした。	製造事業者  (受付:2008/07/14)
2008-1478 2007/04/09  (事故発生地) 不明	包丁（ステンレス製）  使用期間：不明	練習用包丁でバターを切ったところ、背部分に添えた人差し指に痛みを感じた。  (被害なし)	当該品を同等品と比較したところ、バリ等の異常は確認できず、また、同等品の峰（刃の背）の部分顕微鏡及び触感によって調べたが、バリなどはなく、エッジも面取り加工が施されており、異常は確認できなかった。使用時に強く押さえたまま擦ったために痛みを感じた等が考えられるものの、使用時の状況が不明なことから、原因は特定できなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、2008（平成20）年9月より製造するものについては、製品の安全性をさらに向上するために、峰の形状を丸くすることとした。	製造事業者  (受付:2008/07/14)
2008-1479 2007/04/11  (事故発生地) 不明	包丁（ステンレス製）  使用期間：不明	練習用包丁でにんじんを切ったところ、手に擦過傷を負った。  (軽傷)	当該品を同等品と比較したところ、バリ等の異常は確認できず、また、同等品の峰（刃の背）の部分顕微鏡及び触感によって調べたが、バリなどはなく、エッジも面取り加工が施されており、異常は確認できなかった。使用時に強く押さえたまま擦ったために偶発的に負傷した等が考えられるものの、使用時の状況が不明なことから、原因は特定できなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、2008（平成20）年9月より製造するものについては、製品の安全性をさらに向上するために、峰の形状を丸くすることとした。	製造事業者  (受付:2008/07/14)
2008-1480 2008/03/09  (事故発生地) 不明	包丁（ステンレス製）  使用期間：約7日	練習用包丁を父親が子供の手の上に手を添えて使用したところ、背部分で右手人差し指に、紙で切ったような傷を負った。  (軽傷)	当該品を同等品と比較したところ、バリ等の異常は確認できず、また、同等品の峰（刃の背）の部分顕微鏡及び触感によって調べたが、バリなどはなく、エッジも面取り加工が施されており、異常は確認できなかった。使用時に強く押さえたまま擦ったために偶発的に負傷した等が考えられるものの、使用時の状況が不明なことから、原因は特定できなかった。  (G1)	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、2008（平成20）年9月より製造するものについては、製品の安全性をさらに向上するために、峰の形状を丸くすることとした。	製造事業者  (受付:2008/07/14)

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-6497 2007/11/00  (事故発生地) 東京都	容器  使用期間：約1年6か月	キャップ付きの液体用保存容器から湯を注いだところ、湯が手の甲にかかり火傷を負った。  (軽傷)	事故品に異常はなく、同等品との違いも認められず、事故時も湯が飛び出したものではないとのことから、被害者が湯を注ごうとして容器を傾けた際、過って湯が手の甲にかかったものと推定される。  (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、取扱説明書に「熱い液体を注ぐ場合、火傷には十分注意して下さい。」旨、記載することとした。	輸入事業者  (受付:2008/02/25)
2008-1417 2008/06/19  (事故発生地) 大阪府	卵焼き器  YM2-EMBR  日本マイヤー（株） 使用期間：約1か月	卵焼き器の取っ手が脱落した。  (製品破損)	卵焼き器の取っ手取り付け用ネジの長さが135mmであるべきところを、工場の組立ラインにおいて他の製品に使用したネジが紛れ込み、当該品には130mmの短いネジが取り付けられていたため、使用中にネジが緩み、取っ手が脱落したものと推定される。  (A3)	2008（平成20）年7月23日付けホームページにおいて社告を掲載し、回収を行っている。 なお、製造工場に対して検査体制を強化し、ネジの長さの確認を徹底するよう指示した。	輸入事業者  (受付:2008/07/09)
2008-1418 2008/06/30  (事故発生地) 大阪府	卵焼き器  YM2-EMBR  日本マイヤー（株） 使用期間：約1か月	卵焼き器の取っ手が脱落した。  (製品破損)	卵焼き器の取っ手取り付け用ネジの長さが135mmであるべきところを、工場の組立ラインにおいて他の製品に使用したネジが紛れ込み、当該品には130mmの短いネジが取り付けられていたため、使用中にネジが緩み、取っ手が脱落したものと推定される。  (A3)	2008（平成20）年7月23日付けホームページにおいて社告を掲載し、回収を行っている。 なお、製造工場に対して検査体制を強化し、ネジの長さの確認を徹底するよう指示した。	輸入事業者  (受付:2008/07/09)
2007-0362 2007/04/04  (事故発生地) 北海道	両手なべ  ピタクラフト マジックシール 両手鍋5.3リットル  ピタクラフトジャパン（株） 使用期間：約1年	両手なべを使用し余熱調理をしていたところ、なべのふたが内側にへこんで変形し、取っ手にひびが入り、割れて飛び散った。  (製品破損)	火を止めた後、なべが冷える前に、つまみのプッシュボタン（圧力除去用）を押さなかったため、本体とふたが密閉された状態となり、なべ内部が負圧になり、ふたが内側にへこみ、その反動でふたのつまみが破損したものと推定される。  (B4)	発生頻度が低いことから、特に措置はとらないものの、2003（平成15）年より変形等のトラブルを回避するために、なべが冷える前にプッシュボタンを必ず押すようリーフレットを追加している。 なお、当該品の輸入・販売は終了している。	消費者センター  (受付:2007/04/20)

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4749 2007/11/29  (事故発生地) 大阪府	両手なべ（アルミ製）  使用期間：約10回	アルミ製のなべでパンを蒸していたところ、なべの底が溶けて水が抜け、ガスこんろに溶けたアルミが付着した。  (拡大被害)	再現試験において空焚き状態にならない限り再現しないことから、事故当時、空焚き状態になり、なべ底の一部が溶解したものと推定される。  (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター  (受付:2007/12/05)
2008-2208 2008/07/30  (事故発生地) 大阪府	両手なべ（ステンレス製）  LB-103  株式会社タマハシ  使用期間：約6か月	調理中、鍋本体とハンドルを接合するリベットのステンレスカバーが吹き飛んで、額に突き刺さった。  (軽傷)	ステンレスカバーの巻締め加工が不十分なアルミリベットを使用し、鍋本体とハンドルを接合したために、ステンレスカバーとリベットの間の隙間に浸入した水分が調理中の加熱により気化して内圧が上昇した際に、ステンレスカバーがリベットから外れて吹き飛んだものと推定される。  (A3)	他に同種事故は発生しておらず、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、今後販売する製品については、アルミリベットの品質管理の強化及び巻締め加工に用いる治具の定期的検査の実施を行うこととした。	輸入事業者  (受付:2008/08/29)
2008-0693 2008/04/27  (事故発生地) 大分県	両手なべ（ホーロー製、ガラスぶた付）  使用期間：約9年	鍋に材料を入れ、強化ガラス製のふたを5mm程ずらして中火にかけていたところ、ふたが粉々に破裂し、飛び散った。  (製品破損)	ふたをずらして鍋を使用していたことから、こんろの火がふたに直接あたって当該ガラスぶたの耐熱温度差（180℃）を超えたか、あるいは表面についていた傷や製造工程で混入した異物が起点となり、使用中に突然破裂した等が考えられるが、事故品は廃棄されており確認ができず、原因の特定はできなかった。  (G2)	事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	消費者センター  (受付:2008/05/13)
2006-2092 2006/01/25  (事故発生地) 千葉県	冷水筒（プラスチック製）  ドリンクピオD-221  アスベル（株）  使用期間：不明	冷水筒（メタクリル樹脂）に約98度のお茶を入れ、軽くふたをし、台所のカウンターに置いて約10cm横に滑らせ移動させたところ、容器に亀裂が入り破裂し、胸部から足にかけて熱湯がかかり3度の火傷を負った。  (重傷)	事故品が膨張・変形していたことから、熱湯を入れて冷める前にふたをする使用が繰り返され、内圧が高い状態が断続したことで本体容器に負荷が生じ、さらに移動させた際にかかった加重によって破損したものと推定される。 なお、当該製品は、熱湯使用を可能とする一方で、熱湯を入れてすぐにふたをすると「本体が破損する」場合があるとして、「冷めるまでふたをしない」旨を表示していた。  (B4)	従前からの同種事故発生を受けて、表示の改善を行ってきたが、誤使用・不注意による同種事故の再発を防止できないことから、熱湯の使用を禁止することとした。 なお、経済産業省は、事業者及び業界団体に対して製品の表示の改善を要請し、日本プラスチック日用品工業組合では組合員企業に対し、冷水筒による事故の発生について注意喚起を行うとともに、適切な表示に取り組むよう呼びかけを行っている。	国の行政機関  (受付:2006/11/24)

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4286 2007/10/26  (事故発生地) 東京都	冷水筒（プラスチック製）  使用期間：不明	冷水筒（A S樹脂製）に熱い麦茶を入れ、ふたを閉めて持ち上げたところ、容器が破裂して、体に熱湯がかかり火傷を負った。  (軽傷)	被害者は、熱湯を入れた際には十分に冷ましてからふたをする旨の表示が当該製品にあることを認識していたものの、うっかり熱いうちにふたをしてしまい、容器の内圧が高い状態で持ち上げたため、内圧と荷重の負荷に耐えられなくなって、取っ手の付け根付近が破損したものと推定される。  (E2)	ホームページ、製品ラベル及び本体の刻印に注意事項を表示し、注意喚起の強化を図っているが、表示の改善のみでは誤使用・不注意による同種事故の再発を防止できないことから、熱湯の使用を禁止することとした。 なお、経済産業省は、事業者及び業界団体に対して製品の表示の改善を要請し、日本プラスチック日用品工業組合では組合員企業に対し、冷水筒による事故の発生について注意喚起を行うとともに、適切な表示に取り組むよう呼びかけを行っている。	製造事業者  (受付:2007/11/08)
2007-4308 2007/10/25  (事故発生地) 千葉県	冷水筒（プラスチック製）  ドリンク・ピオD-221  アスベル（株）  使用期間：約2か月	冷水筒に、酸素系漂白剤（粉末）と水を入れ満水にし、ふたをして台所の流しに放置しておいたところ、容器が破損した。  (拡大被害)	密閉容器中で酸素系漂白剤から酸素ガスが発生したため、内圧が上昇し本体が破損したものと推定される。 。なお、漂白剤の表示には漬け置きする際は密閉しない旨の注意表示があったが、冷水筒にはその旨の表示はなかった。  (B4)	他に同種事故は発生していないが、漂白剤を使用する際は容器を密閉しない旨の表記を追加する。 。	消費者センター  (受付:2007/11/09)
2008-1882 2008/07/22  (事故発生地) 山口県	冷水筒（プラスチック製）  使用期間：約1か月15日	冷水筒（A S樹脂製）に沸かした麦茶を注いだところ、突然容器が破裂し、両太ももと左腕に火傷を負った。  (軽傷)	事故品の破片は膨張・変形しており、熱湯を入れて冷める前にふたをする使用が繰り返され、内圧の高い状態が継続したと推察されるが、熱湯を注いだ際に破損していることから、熱衝撃によって破損に至ったとも考えられ、原因の特定はできなかった。なお、当該製品は、熱湯使用を可能とする一方で、熱湯を入れてすぐにふたをすると「本体が破損する」場合があるとして、「冷めるまでふたをしない」旨を表示していた。  (G1)	従前からの同種事故発生を受けて、表示の改善を行ってきたが、誤使用・不注意による同種事故の再発を防止できないことから、熱湯の使用を禁止することとした。 なお、経済産業省は、事業者及び業界団体に対して製品の表示の改善を要請し、日本プラスチック日用品工業組合では組合員企業に対し、冷水筒による事故の発生について注意喚起を行うとともに、適切な表示に取り組むよう呼びかけを行っている。	消費者センター  (受付:2008/08/08)